

6-2 スローフードとチッタ・スロー

■マッサ・マリッティマの農業

第一章でみてきたとおり、マッサ・マリッティマには、「都市」と「田園」の対比する構造がある。第二章、第三章、第四章では、都市の部分の話してきたわけであるが、コムーネのテリトリーの多くは、農耕地および森林なのである。

都市の周辺地には、主にブドウ畑やオリーブ畑が広がっている。下のブドウ畑の写真は、背景の丘、中央にマッサ・マリッティマの旧市街、チッタ・ヴェッキア地区が見えているので、都市部との位置関係がわかりやすいと思う。



図 6-1 ブドウ畑の広がる風景 ※筆者撮影



図 6-2 オリーブ畑の広がる風景 ※筆者撮影

次の図は、マッサ・マリッティマの周辺地がどのような構成になっているかを示すために作成したものである。人々が集住する都市部の周辺は、農耕地と山林が占め、耕作地の大半では、ブドウやオリーブが栽培されている。その他、小麦などの種まき型の畑となる。

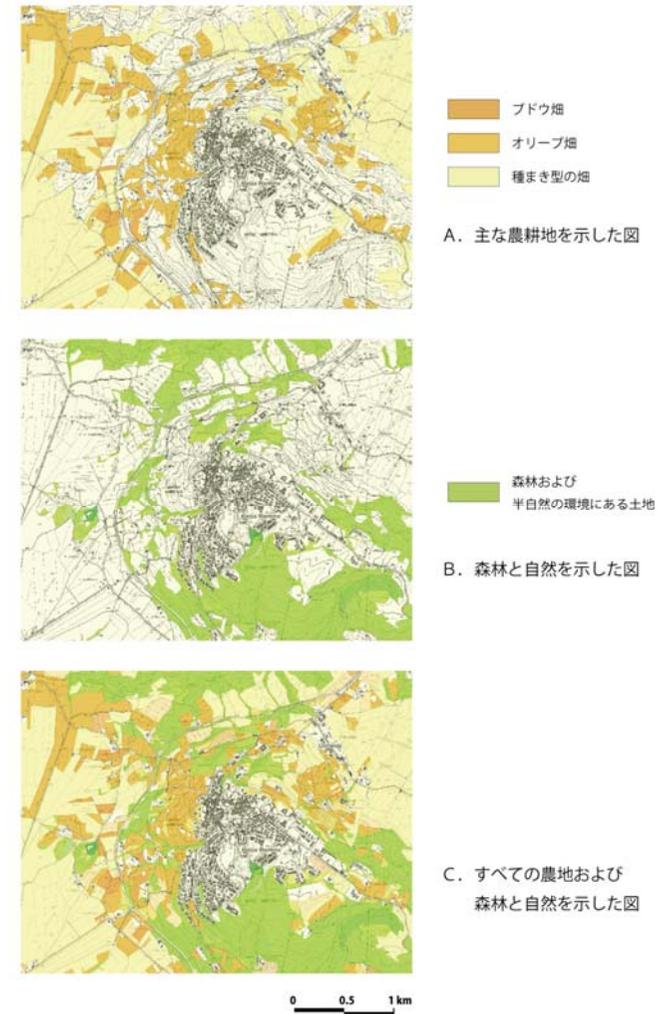


図 6-3 マッサ・マリッティマ周辺部の農耕地と森林の分布

※トスカーナ州 Regione Toscana の提供する資料 2010 年のデータより筆者が作成。